完全対策講座 世界史

このPDFは、製品版の冒頭5ページを抜粋した
無料の試し読みサンプルです。目次・本文の書き方・
問題の出し方を確認してから、購入をご検討ください。

購入先

・黒田塾 教材プラン（科目別・セット価格、LINEで注文）
https://kurodaschool.jp/materials/
・BOOTHショップ「東大黒田塾」（ダウンロード販売）
https://kurodajuku.booth.pm/
・科目選びの相談（無料）
https://kurodaschool.jp/contact/

※ サンプルは製品版の一部です。収録範囲・分量の全体は
各販売ページでご確認ください。
※ 本サンプルは個人の学習用です。第三者への配布・転載・
転売・共有は禁止します。
※ 購入や読了による合格・得点を保証するものではありません。

高校世界史／内容点検改訂第8版

なぜ・流れで学ぶ
構造化マスター

出来事の理由をつなぐ。

隠して思い出し、問題で使う。

試し読みサンプル

通史72単元＋歴史総合補完16単元

穴あき880か所／単元問題736問／総合演習32題

全単元に下段解答付き確認プリント

全問に直後の解答・解説

高校課程の理解から、比較・資料読解・国公立大の論述へ。

2026年10月30日／XeLaTeX組版

何を学び、何ができるようになるか

世界史探究を通して学び、歴史総合の日本と世界を結ぶ。

本書の対象

初学者が、主語・時期・場所を確かめながら世界史を理解し、比較・資料読解・論述へ進むための教材。
扱う知識は高校世界史・歴史総合の範囲とし、大学の専門課程の理論や計算は要求しない。

通史72単元と歴史総合補完16単元を収録する。すべての単元に、本文、因果を一段ずつ確かめる説明、用語、番号付き穴あき、演習と直後解説を置いた。通史には制度・文化・比較を深める整理もある。

実収録	内容
穴あき確認	88枚・880空欄。答えは同じページの下段。
単元問題	基本・発展・選択の688問に、比較・順序の補強48問を加えた736問。
総合演習	従来の24題に横断演習8題を加えた32題。問題ページの直後に解答・構成・採点観点。
整理資料	文化・年代・都市の位置・制度の比較。用語から単元へ戻る索引。

「難関」は範囲を広げる意味ではない

高校で学ぶ知識を、時代や地域をまたいで結び付け、初めて見る資料や設問へ使うことを目指す。重要語を覚えるだけでなく、因果・共通点・相違点・変化と継続を説明する。

習得は、自力で確かめる

読了だけで、全細目への対応や合格を保証することはできない。答えを隠して語句を出し、理由を言い直し、時間を空けても問題を解けるかを確かめる。仕上げは志望校の公開過去問で、時間・字数・資料の形式への対応を確認する。

試し読みサンプル

読む→つなぐ→隠す→使う

一度の読み返しで終わらず、思い出す練習を入れる。

順	実際にすること
1 本文	時代と地域を先に確認。登場人物や国家の行動を、主語を付けて言い直す。
2 因果を一段ずつ	背景・必要・行動・結果の間を確かめる。選択問題は解説を隠して解く。
3 用語と深める	名前から意味、意味から名前の両方を答える。細部は本文の流れへ置く。
4 穴あき	下段を紙で隠して①〜⑩を答える。誤った番号は前後の理由とともにやり直す。
5 演習	各問の直後の解答を隠す。自分の答えを作ってから、解説と比べる。
6 総合	複数単元の知識を使う。自分の答案を完成させてから、次ページの解答例を見る。

言い直す型

「AはBという問題に対応するためCを行った。その結果Dが変わった。一方でEは残った。」必要な要素を選び、単語の列挙を文章へ変える。

一例として当日、翌日、数日後、一週間ほど後に短く確認する。出せる問題は間隔を延ばし、出ない問題は本文の理解を直してから再度解く。この間隔は運用例であり、全員に最適な固定日程ではない。

赤シートの色に依存せず、紙で下段や解説を隠す方式。穴あきは手書き用の空欄で、PDFの入力フォームではない。

試し読みサンプル

世界史探究の内容と本書の対応

学習指導要領の大きな領域と、戻る単元を結ぶ。

領域	本書の主な対応	学ぶ関係
世界史へのまなざし	U01・70〜72、H16	自然・生活・資料と歴史のつながり。
諸地域の歴史的特質の形成	U02〜24、U30〜33	古代文明、国家・宗教、諸地域の社会と文化。
諸地域の交流・再編	U17〜18、U25〜44	イスラーム、モンゴル、海域交流、近世諸帝国、主権国家。
諸地域の結合・変容	U45〜60	革命・工業化、世界市場、帝国主義、民族運動、二つの世界大戦。
地球世界の課題	U61〜72	冷戦・脱植民地化・経済の結合、科学・文化・環境・人権。

本書は理解しやすい通史の順番を採用するため、指導要領の見出しと単元は一対一ではない。同じ地域や問いが複数の時代で再び現れ、後の単元から前の制度へ戻って比較できるようにしている。

高校の範囲で深く考える

因果関係や資料の限界を考えることは、大学範囲の知識を先取りすることではない。本文の知識を使って「なぜその選択肢は違うか」「資料のどこが根拠か」を説明する。専門的な歴史理論・原語史料の翻訳・学説史の網羅は求めない。

範囲の確認：文部科学省「高等学校学習指導要領解説 地理歴史編」。本表は教材の対応案であり、文部科学省による認定や入試全細目の一覧ではない。

試し読みサンプル

歴史総合と、演習で確かめる力

日本と世界を別々に暗記せず、共通する変化と相互作用を学ぶ。

領域	本書の主な対応
歴史の扉・資料の扱い	U72・H16、総合X17〜32。作成者・目的・読み取れる範囲を確かめる。
近代化と私たち	U37〜54、H01〜06。交易、工業化、国民国家、帝国の展開。
国際秩序の変化や大衆化と私たち	U55〜62、H07〜12。大戦・恐慌・大衆化・戦後の秩序。
グローバル化と私たち	U63〜71、H13〜15。独立、経済成長、国際分業、環境と人の移動。

問題の種類	できるようにすること
年代・順序	前後を並べるだけでなく、先の出来事が次の条件をどう変えたか言う。
因果・制度	目的と手段、税と軍、支配と協力などの間を説明する。
比較・正誤	同じ基準で二つを比べ、時代・地域・主語の混同を直す。
資料・論述	資料の事実と推論を分け、設問の条件に沿って根拠のある答案を作る。

資料の性格と出典は各問に明記した。X21は米国の独立宣言・制定時憲法、X26はフランスの人権宣言・1791年憲法の要約。他の想定資料・仮想数値を実在の記録として扱わない。問題は独自作成で、大学の過去問の転載ではない。

試し読みサンプル